

経営比較分析表（令和元年度決算）

北海道木古内町 国保病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	14	-	ド透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
4,066	6,945	第1種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

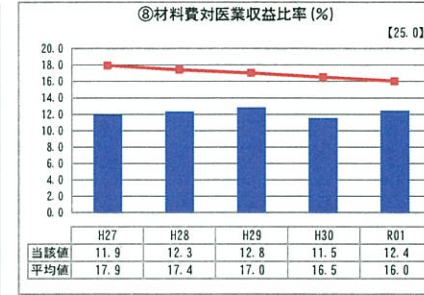
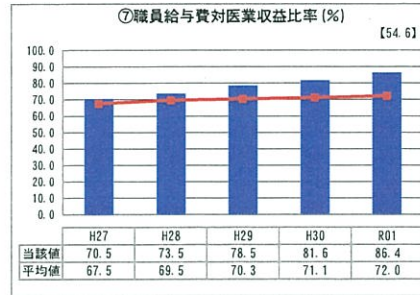
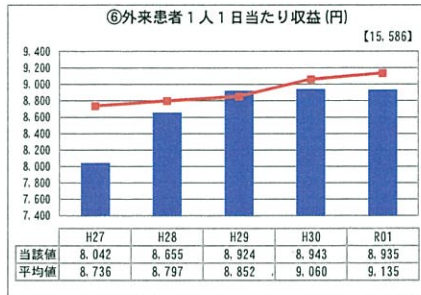
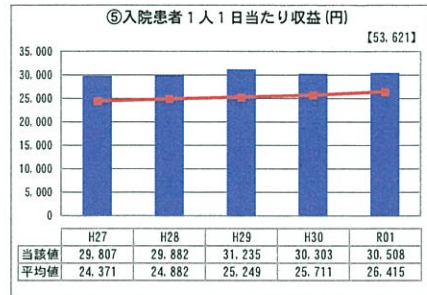
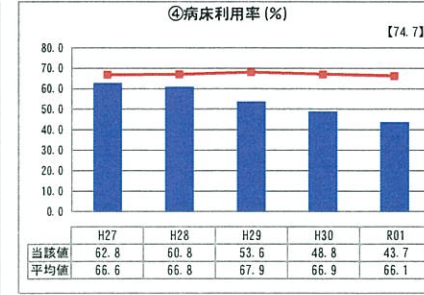
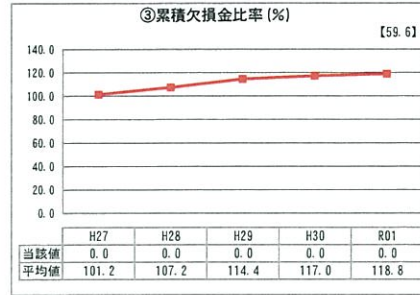
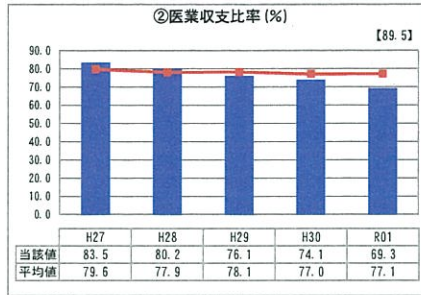
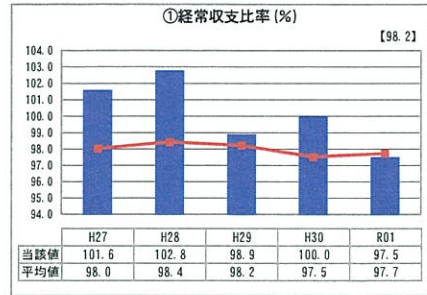
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
99	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	99
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
99	-	99

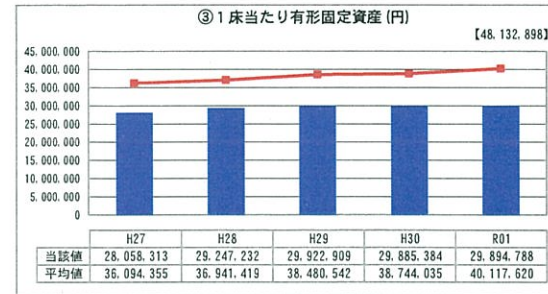
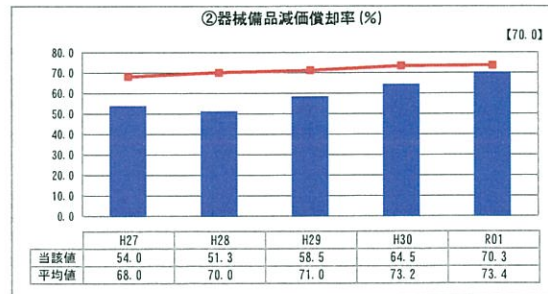
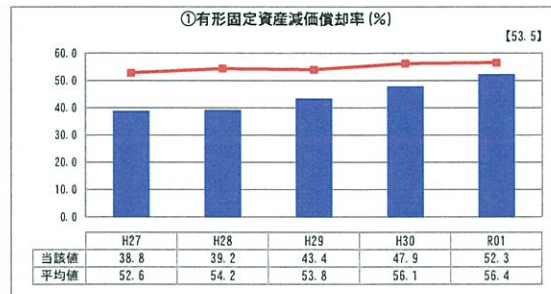
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- [] 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

渡島西部地区（木古内町・知内町・福島町）における基幹病院として、地域医療の確保のため重要な役割を担っています。
また、救急告知病院として救急患者の受入のほか、24時間体制の訪問看護体制を行い保健・医療・福祉が一体となったまちづくりにおける中核的な役割を担っています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成29年度に策定した「新木古内町病院事業改革プラン」に基づき、患者サービスと医療の質の向上に努めています。
診療圏域における健康寿命の延伸や新型コロナウイルス感染症発生に伴う受入病床数の制限などの影響により、入院患者が減少しました。この結果、平成31年度では経常収支で約3,470万円の赤字決算となりました。

2. 老朽化の状況について

平成22年5月に新病院を建設し施設全体に立った老朽化はありません。減価償却率においても、全国平均を下回っています。
今後も施設、医療機器等については、補助金、起債を活用して計画的な導入、更新に努めていきます。

全体総括

病床利用率が低下が続いているため、新型コロナウイルス感染症の収束後に病棟再編も視野に入れ、当院の課題である医師や看護師、医療技術職等の人材確保に努めるとともに、今後も診療圏域住民へ安心感を与えられる医療施設として努めて参ります。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。